

『水産海洋学入門 海洋生物資源の持続的利用』 正誤表

この度は、標記書籍をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
記書籍に誤りがありました。訂正し、深くお詫び申し上げます。

ページ	場所	訂正前	訂正後
xii	6.2のタイトル	～気候変動への影響	～気候変動の影響
6	5行目	捕食	捕食
10	図の説明文	捕食	捕食
29	図の説明文		「二平 章. 東北水研研報 58: 137(1996) (一部改変)」を図の末尾に加える
	下から8行目および7行目	プランクトンネットによる漁業対象種の浮遊卵および仔魚・稚魚の現存量を調べることが…	漁業対象種の浮遊卵および仔魚・稚魚の現存量をプランクトンネットにより調べることが…
	下から2行目	海洋の生物生産力を	海洋の生物生産を
	下から5行目	用船	備船
35	2行目	vehicle; AUV	vehicle: AUV
	16行目	定点における連続観測	定点連続観測
36	下から10行目	困難性	困難さ
	下から3行目	プランクトンの傾斜びき	プランクトン曳網
37	下から11行目	潮の満ち干	潮の干満
44	下から5行目	方法をとっている	方法をとっている
49	最終行	1.2 m/s^{-1}	$1.2 \text{ m} \cdot \text{s}^{-1}$
50	下から8行目	溶存酸素量	溶存酸素濃度
	下から7行目	栄養塩	栄養塩濃度
152	1行目	「魚種典型」現象である	「魚種交替」現象である
170	6.2のタイトル	～気候変動への影響	～気候変動の影響
230	12行目	これは、アメリカ大陸の東岸域では	これは、アメリカ大陸の西岸域では